



高山寺倉庫火災！

西日本防災システム

2015 02 18

2月17日の夜に発生した京都市東山区、高台寺の倉庫火災で、この日庭の手入れをしていた職人が「たき火をした後の灰を段ボールに入れて倉庫に置いた」と説明していることが、京都府警東山署の調べで分かったそうです。同署は火の不始末の可能性があるとみて詳しい出火原因を調べているようです。

職人は火災のあった17日午後5時半頃まで、暖を取るために倉庫の近くで伐採した枝などをドラム缶で燃やしていたようです。通常ドラム缶で燃やした場合、燃やした灰をふるいにかけて、火の気がないことを確認してから倉庫に戻しているのだそうですが、この日は灰をふるいにかけて、そのまま段ボールに入れたそうです。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 